



発行 日本共産党 寝屋川市議会議員団 072-824-1181 (内線2399) FAX: 824-7760 No. 3 2 1 2



太田とおる 高柳2-49-2 080-3818-9722



中林かずえ 宝町4-33 090-3944-8385

国民健康保険の都道府県単位化で 大阪の国保料はどんどん上がる

国保料・税を値上げした自治体の割合

		割合 (%)	自治体数
①	大阪府	90.7	39
②	東京都	64.5	40
③	広島県	52.2	12
④	神奈川県	51.5	17
⑤	福井県	47.1	8
⑥	愛知県	42.6	23
⑦	福島県	40.7	24
⑧	岐阜県	40.5	17
⑨	島根県	36.8	7
⑩	宮崎県	34.6	9
⑪	三重県	34.5	10
⑫	兵庫県	31.7	13
⑬	石川県	31.6	6
⑭	高知県	29.4	10
⑮	長崎県	28.6	6
⑯	京都府	26.9	7
⑰	新潟県	26.7	8
⑱	群馬県	25.7	9
⑲	埼玉県	22.2	14
⑳	徳島県	20.8	5
㉑	宮城県	17.1	6
㉒	滋賀県	15.8	3
㉓	栃木県	12.0	3
㉔	香川県	11.8	2
㉕	千葉県	11.1	6
㉖	大分県	11.1	2
㉗	佐賀県	10.0	2
㉘	静岡県	8.6	3
㉙	秋田県	8.0	2
㉚	山口県	5.3	1
㉛	愛媛県	5.0	1
㉜	富山県	0.0	0

全市区町村の改定料率が分かった32都府県について家族4人のモデル世帯で計算

調査は日本共産党がおこなったもので、「給与年収400万円・4人世帯(30代夫妻と子2人)」をモデルに集計しました。

全市区町村の状況が分かった32都府県のうち、値上げした自治体の割合が断トツで多いのは大阪府。43市町村のうち90・7%の39市町にのぼりました。

田尻町の値上げ幅が府内最大で、年4万円増の45万5千円に。松原市の年額が府内最高で、1万1千円増の47万3千円に、寝屋川市は41万9千円です。

国民健康保険は、1980年代頃までは加入世帯の多くを自営業者や農林水産業者が占めていました。

しかしその割合は年々減少し、いま大阪では自営業者・農林水産業者の割合は2割足らずです。

一方で、高齢化や非

正規雇用の増などにもない、被用者や無職の割合が増加しています(グラフ1)。

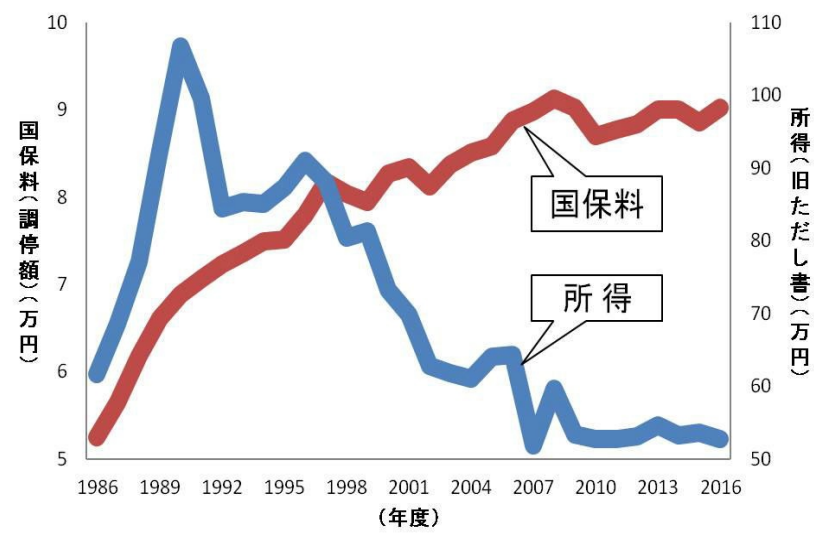
このもとで、1990年度のピーク時には1人平均年間107万円だった加入者の所得は、2016年度は53万円と半減しています。

なのに国保料は値上がりする一方です。

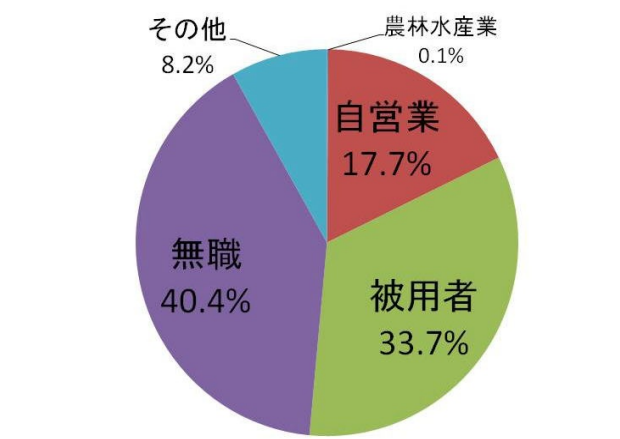
1990年度は加入者1人平均年間6万9千円で、所得に占める負担は6・5%でした。それが2016年度は9万円になり、所得のうちの17・1%もの負担になっています(グラフ2)。

寝屋川市は2年続けて激変緩和措置の補助と基金の繰り入れで国保料を据え置きました。自治体の努力は限界があります。根本的に国保への国庫補助の増額が望まれます。

グラフ2 国民健康保険 加入者1人あたりの国保料と所得【大阪府】



グラフ1 国民健康保険 加入世帯主の職業別世帯数【大阪】2016年度



チャレンジテスト不要 府議会で内海議員が追及



内海府議

大阪府議会教育常任委員会が18日開かれ、日本共産党の内海公仁府議の質問で、高校入試の内申点に反映させるチャレンジテストは必要がないことが浮き彫りになりました。教員が責任をもってつけた生徒の内申点を変更したり、学校をリンク付けするもので行

政による教育への介入の恐れがあると指摘した内海府議に対し、吉村知事は「学力の伸びを経年で把握するため」などと答弁するにとどまり、チャレンジテストを実施する理由をまともに述べませんでした。内海府議は「われわれが携わっている学校の教育が信用されていないようで不快。5教科の点数をあげることでばかり重視されているように感じる」などの

中学校長からの批判、「お前はテストの日、休め」と言われる、テストの出来が悪かったことを友達にわびるといった生徒間の分断が生じていると指摘。府内中学校長や教員にアンケートを実施することを求めるとともに、予算を現在の3億円から5億円に増やしてまで小学5、6年生に拡大することはやめるべきだと主張しました。吉村知事は、アンケートの実施は教委が判断

するとしながらも「みんなで仲良く何もしないという勢力が強くなれば努力しないということになる」と現場の声をあんに否定する態度をとりました。また内海府議は、特別支援学校の過密過大の解消と今



後増加する知的障害児に対応するため、新設校を大幅に増やすなど整備計画を見直すよう求めました。

生活保護申請改善される 9割を超えて14日以内に

2018年度決算の審査で出された資料で寝屋川市の生活保護申請の改善が見受けられました。2015年度には、

134件24%も国の求める14日以内に決定がなされていませんでした。2018年度には31件5%しか14日を超えていませんでした。

この間、保護決定を速やかに行えという市民要求が実現したものです。更なる改善を求めていきます。

2018年度 申請から決定までの日数

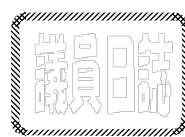
日数	件数	日数	件数
0日	4	16日	1
1日	5	17日	3
2日	3	18日	2
3日	3	19日	2
4日	6	20日	1
5日	3	21日	2
6日	20	22日	2
7日	50	23日	0
8日	59	24日	1
9日	44	25日	1
10日	50	26日	0
11日	57	27日	0
12日	48	28日	3
13日	87	29日	1
14日	100	30日	0
15日	12	合計	570

14日以内 539件
14日超 31件

2015年度 申請から決定までの日数

日数	件数	日数	件数
0日	2	16日	17
1日	1	17日	13
2日	3	18日	15
3日	3	19日	8
4日	3	20日	14
5日	8	21日	13
6日	10	22日	12
7日	18	23日	4
8日	46	24日	7
9日	42	25日	5
10日	37	26日	3
11日	38	27日	4
12日	52	28日	0
13日	87	29日	1
14日	72	30日	0
15日	18	合計	556

14日以内 422件
14日超 134件



太田 とおる

娘と妻の要望に堪えきれず、とうとう我が家でも犬を飼うことになりました。

私は、犬を飼った経験もなく、不安で一杯です。毎日の餌やり、糞の始末、散歩と娘と沢山の話し合いをして約束ごとを決めました。

そんな中で娘が父ちゃん捨て犬って知ってる、絶対あかんねんで、最後まで一緒にいるねんと話してくれました。

寝屋川市でも今年度から中核市となり保健所の運営が始ま

り、殺処分ゼロを目標に取り組まれます。今では多くのペットが家族として暮らしている一方で飼えなくなったペットが、捨てられることも珍しくなく社会問題となっています。皆さんのご意見を聞き取り組んでいきたいと思えます。よろしく願います。ちなみに我が家の犬は黒色の柴犬でゴマと名付けられました。初日からうんこまみれになって夜中に風呂場で洗いました。